

28年度県営繕設備担当職員との意見交換会 協会からの質問に対する県の回答

(平成28年12月12日開催)

設計	
Q1	意見交換会で毎回、設計の相違が多いとの意見が出るが、状況は良くなっているのか？施工者側からは正直、変わっていないと思う
A1	過去の意見交換会での意見は設計に反映し、設計の相違が無いよう改善に努める
Q2	28年度から国土交通省が試行する「入札時積算数量書活用方式」を、今後、県でも試行し適用する予定はあるか
A2	他県の実情を見ているところ
Q3	建築・電気・機械または別途関連工事との整合性がない。施工区分を分かりやすく明記してほしい
A3	各工種間の整合を図り、施工区分の表示により分かりやすい設計図面の作成に努めている
Q4	ケーブルの長さなど、設計数量と実施工数量とで差異が大きい場合がある。実施工数量に近い設計数量にしてほしい
A4	数量算出は建築関係工事積算基準に基づき積算しているが、現場状況により設計内容に変更が生じた場合は監督員と協議してほしい
Q5	今後、BIMを利用して設計を行う計画はあるか？
A5	BIMでの設計はどのような工事、規模で行うかなど、検討する必要があると考えている
Q6	機器等の選定で、仕様等が詳細に明記されていてメーカーが限定されてしまう。同等以上の機器を選定できるように最低限の仕様の明記してほしい
A6	透明性の観点から、設計図書にはメーカーが特定できないような記載に努めている
監督業務	
Q7	建築工程の遅れが電気工事工程への影響が大きい場合、現場サイドとしては建築業者との関係悪化をおそれ指摘しづらい。発注時の工期設定時に設備工事工程分を加味して建築工事の工期を設定し、建築工事にその余裕分を使い切らないように指導することは可能か
A7	28年10月に県建築・設備工事特記仕様書を改正し、概成工期の項目を新たに設け、必要な試験調整期間、設備への電源供給開始時期等を設計図書に明示し、必要な日数を確保するようにしている
Q8	追加変更に伴った増額の変更契約を速やかに行ってほしい。下請業者への注文書の発行や支払等が滞ってしまう
A8	変更契約は時間がかかるため、現場作業に支障をきたさないよう工事内容変更通知により迅速な対応に努めている
Q9	工期内に監督員が変更になった際、詳細に引き継ぎがされておらず、後任者が工事内容を把握していないため説明が必要となる
A9	監督員が変更になる場合は十分な引き継ぎを行うよう努めているが、人事異動等により監督員の変更があることを理解願いたい
Q10	土木発注の電気設備、電気通信設備の監督員は、建築側で監理業務を行った方が説明資料が少なく済み、工事が円滑に進む。発注規模にもよるが外部委託等が必要ではないか
A10	土木工作物の設備工事は基本的に設備職員が監督員を行っているが、設備の規模・内容により設備職員ではない場合もある。設備職員が技術支援を行うことも可能なので、支障がある場合は当該工事の監督員に相談してほしい
Q11	設計変更の協議で、特に金額が増加する場合、何度も協議書や変更案の資料等を提出しているが、決定もせず時間がとられ他業務ができない（特に第三者監理がある場合、責任の所在が不明確となっていると感じる）
A11	受注者から協議があった場合、現場での工程の遅れやトラブル拡大を防ぐため、できる限りワンダーレスポンスに努めているが、判断が困難な協議の場合は、課内での検討が必要となるため時間がかかる場合もあるので理解願いたい
Q12	監督員によって求められる書類と量が異なることがあった（前回は不要だったものが、今回は必要になることがあった）
A12	工事監理書類は、共通仕様書で「工事着手前に監督員と現場代理人にて当該工事に必要な書類を確認する」となっており、平成23年に工事書類チェックリストを作成している。工事ごとに必要な書類が異なるため、工事着手前にリストを基に協議してほしい
Q13	監督員の業務が多忙のため、現場に影響が出る場合がある。それに対するフォローやケアはしているか？
A13	現場状況の把握は監督員だけでなく上司も含め、組織でフォローするようにしている。監督員が不在か連絡が取れない場合は、係長等へ連絡し対応を協議してほしい
Q14	ワンダーレスポンスで対応してくれる監督員もいるが、いまいち機能していない部分もある。若手監督員の教育や育成は行っているのか？
A14	土木部の方針としてワンダーレスポンスによる取組を実施しており、迅速な対応には技術力の向上が不可欠なため、建築職員の専門研修を定期的に行うなど監督員の教育・育成に努めている
その他	
Q15	電気設備工事において、建設リサイクルデータ統合システム(CREDAS)の作成は再生資源が無くても、また少量でも必要か
A15	再生資源が無い場合は必要ない。少量でも再生資源が発生する場合は、クレジットにより再生資源利用促進計画(実施書)を作成するよう共通仕様書内で定めている
Q16	地域貢献とは、具体的にどのようなことをすると評価されるのか知りたい。例えば清掃活動やインターンシップ、仮設物のイメージアップ以外で
A16	地域貢献とは、工事の施工に伴って地域社会や住民に対する配慮、協力等の活動を工事成績評価表の中で評価するもの。これまでは①地域主催のイベントへ積極的に参加②定期的に広報誌を配布③現場見学会の開催などが評価されている
Q17	28年度より県土木部等の入札で電子閲覧・入札が大幅に拡大されて、移動時間等が削減され大変良かったと思っている。今後は警察本部、県立高校等の入札でも電子化をお願いしたい
A17	土木部と農林水産部は全ての工事で電子閲覧・入札としているが、その他の部局は、全工事を対象とするには至っていない。今回の意見は担当部署へ伝達したい
Q18	入札時の設計図書閲覧時に提示される設計図が、画質が悪く記入文字が判読困難な場合がある。画質の良いものを提示してほしい
A18	判読可能な画質の良い設計図の提示に努めています
Q19	改修工事の「適切な工期設定」をお願いしたい。現地を調査して対応する場面が多々出てくるので、時間がかかり工期内完成が危ぶまれる例がある。また、機器の製作日数が長期になるものもあり、メーカー製作期間、納期や監督員側との書類のやり取り・検査等に係る工程も関係してくるため、それらを考慮して設定してほしい
A19	製作に時間を要する機器は、設計時点でメーカー等に製作期間を確認し工期を設定しているが、今回の意見を踏まえ対応を徹底する。受注後の現地調査の結果による変更等や製作メーカーの事情により工期延長が必要な場合は、監督員へ協議してほしい
Q20	見積り依頼について①「提出期日が連休等を挟み短すぎる」「依頼内容が現地に出向き調査しないと分からない」ケースがある②仕様、内容等を明確に記載してほしい（「分電盤改造一式」で終わっているなど）
A20	見積り依頼にあたっては、可能な限り詳細な内容を記載するとともに、適正な期間の確保に努めている。提示のあった見積り期間では対応が困難な場合は、県の見積り依頼担当者として協議してほしい

復興実現へ組織一丸 県総合設備協会 設備3団体が賀詞交歓会



一年の活躍を願い乾杯する出席者（上）とあいさつする坂本会長

団体が一丸となって取り組むことを誓った。

当協会と県空調設備工事事業協会、県設備設計事務所協会の会員と来賓合わせて194人が出席した。坂本会長が「ふくしま新生プランを実現する一

翼を担っていく。特に地球温暖化対策は建築設備業界が担うべき最重要課題。低炭素・循環型社会の実現に向けて省エネルギー・省電力対策、再生可能エネルギーの導入拡大を進め、復興・再生を成し遂げる一助となりたい」とあいさつ。

来賓の大河原聡県土木部長は、ふたば未来学園などの拠点施設建設や建築物の耐震化、子育て世代や高齢者に適した居住環境づくりなどに取り組む考えを示し「いずれの取り組みも建物に息を吹

き込む設備工事が重要。皆さんの技術力が不可欠であり、設備はひとつの合言葉の下に結束した協会の組織力が復興・創生を支えてくれるはず」と祝辞を述べ、杉山純一

田母神氏が講演

総会に先立ち、田母神秀顕県土木部管轄課長が「建築設備におけるイノベーション」と題して講演した。田母神氏は建築設備工事東北ブロック会議や県建設業審議会の答申内

容、関係団体との意見交換等を踏まえ、担い手の確保・育成や直接（分離）発注、技術力・経営力の強化など建築設備業界の課題を提示。

建築士法で建築士のアドバイザーに位置付けられている建築設備士について、法令と実態の乖離がモチベーションなどに影響するとともに、もともと数が少ない中で高齢化も進んでいるとして「女性、若手の活用が急務。アドバイザーから設計者として立場が変わるようイノベーションを起こさないといけない」と奮起を促した。

県会議長、佐々木孝男、ふくしま建築住宅センター理事長も協会の活躍に期待を寄せた。

佐藤憲保自由民主党県支部連合会副会長の発声で乾杯し懇談した。

県総合設備協会（会長）は、1月27日、福島市のホテル辰巳屋で新年賀詞交歓

会を開き、低炭素社会の実現による本県の復興・

実現による本県の復興・

実現による本県の復興・

実現による本県の復興・

実現による本県の復興・

人と環境を明日につなぐ、
ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社 / 〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706

拠点 / 仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器・空調機
オール電化・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージエネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社
いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

FAX (024) 581-5688
TEL (024) 581-5811

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA
電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河 / TEL (0248) 27-3385代
須賀川 / TEL (0248) 72-7136代
郡山西 / TEL (024) 952-5455代
郡山南 / TEL (024) 923-3298代
郡山北 / TEL (024) 939-3081代
会津 / TEL (0242) 37-2660代
原町 / TEL (0244) 22-5105代
馬 / TEL (0244) 35-1234代
福島東 / TEL (024) 546-3700代
福島 / TEL (024) 553-1181代
いわき南 / TEL (0246) 28-6111代
勿来 / TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所 45ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

県土木部人事 建築担当次長に村井氏

5建設事務所で所長交代

県は、4月1日付の定兼総務審査課長が就任した。期人事異動を行った。総務審査課長は猪股 慶藏(会津若松建設事務所)で異動件数は1518件で例年より小幅。

土木部の幹部級人事は左表の通り。次長級は、事務方の政策監に杉浦孝幸人事委員会事務局次長、事務方事務局次長に木正宏都市計画課長が昇格した。

建築住宅課長には齋藤 祐一(建築指導課長)、建設指導課長には川音 真悦(建築住宅課主幹)、建築住宅課主幹には大 治(建築住宅課主幹)、建築指導課長には川音 真悦(建築住宅課主幹)、建築指導課長には川音 真悦(建築住宅課主幹)。

□県土木部の主な幹部人事(新任分)

- ▼政策監 杉浦 孝幸 (人事委員会事務局次長兼総務審査課長)
- ▼次長・道路担当 猪股 慶藏 (会津若松建設事務所長)
- ▼次長・都市担当 鈴木 良治 (県中建設事務所長)
- ▼次長・建築担当 村井 弘道 (建築住宅課長)
- ▼参事 寺木 正宏 (都市計画課長)
- ▼建築住宅課長 齋藤 祐一 (建築指導課長)
- ▼建築指導課長 川音 真悦 (営繕課長)
- ▼営繕課長 大竹 健義 (建築住宅課主幹)
- ▼県中建設事務所長 佐藤 善治 (南会津建設事務所長)
- ▼会津若松建設事務所長 小川 辰壽 (河川計画課長)
- ▼喜多方建設事務所長 山口 登 (港湾課長)
- ▼南会津建設事務所長 磯松 教彦 (道路管理課長)
- ▼相双建設事務所長 井戸川 伸 (道路整備課長)
- ▼富岡土木事務所長 小池 敏哉 (河川計画課副課長兼主任主査)
- ▼相馬港湾建設事務所長 南場 貴史 (土木企画課主幹)
- ▼小名浜港湾建設事務所長 鍋野 浩和 (技術管理課主幹兼副課長)
- ▼福島空港事務所長 郷 正美 (工事検査課主幹兼専門工事検査員)
- ▼県北流域下水道建設事務所長 秋田喜代司 (砂防課主幹兼副課長)
- ▼県中流域下水道建設事務所長 吉田 裕司 (道路管理課主幹兼副課長)

青田電気商会で実習



このたびは4日間ばかりの大変貴重な体験をさせて頂きまして、ありがとうございます。何もうまくいきました。何もうまくいきました。何もうまくいきました。

意義深い経験に感謝

理想していたものとは異なり、現場に行ってみると、実際の業務に就業してDや、初めて見た記号や、電気工事という仕事の

2年生9人が就業体験

相双支部が協力 小高工高インターンシップ



現場実習する生徒

相双支部は1月24日から27日にかけて、県立小高工業高校電気科のインターンシップに協力した。旭電設工業、旭電気工事、青田電気商会、早川電気工業、高木電気商会の5社が生徒を受け入れ、電気設備工事の魅力

務所のうち5所長と、公口登港湾課長、南会津建設は磯松教彦道路管理課長、相双建設は井戸川伸道路整備課長、富岡土木は小池敏哉河川計画課副課長兼主任主査が回った。

協会のうごき

(本部の主な行事)

- 【12月】
 - 9日 工事安全パトロール(松ヶ房・玉野地区照明設備工事)
 - 16日 現場代理人のためのカンタン解説!変更契約説明会(白河)
 - 20日 県営繕設備担当職員と県設備設計協との意見交換会(郡山)
- 【1月】
 - 6日 第3回正副会長・総務委員会合同会議(協会) 新年挨拶まわり(国・県ほか)
 - 24日~27日 インターンシップ支援(相双支部:小高工業高校)
 - 27日 福島県総合設備協会「平成29年新春講演会・新年賀詞交歓会」(福島)
- 【2月】
 - 9日 工事安全パトロール(県文化センター)
 - 24日 東北地方整備局「出前講座」(郡山)
- 【3月】
 - 7日 第2回技術・安全委員会(協会)
 - 第2回広報委員会(協会)
 - 第4回正副会長・総務委員会合同会議(協会)
 - 28日 第3回理事会(協会)

「変更契約説明会」28年度実施状況

会員・非会員	参加社等	参加人数
● 会員	30	264
福島	6	37
郡山	4	73
白河	3	12
いわき	5	74
相双	6	15
会津	6	53
● 会員以外	3	62
計	33	326

29年3月6日現在

33社等、326人受講

現場代理人のための 変更契約説明会

当協会が28年度に新規で取り組んだ講習会「現場代理人のためのカンタン解説!変更契約説明会」に参加。会員以外では3社、団体で実施した。

28年度の実施状況は「左表」の通り。会員企業は30社、計264人が参加。会員以外では3社、団体で実施した。

説明会は、県の設計変更ガイドライン策定を受けて、会員等がガイドラインの内容とともに、変更契約の根拠となる工事請負契約約款を学ぶことで、設計変更に関する理解促進と技術者としてのレベルアップを図るのが目的。現場代理人クラスが対象で、協会独自のテキストを用い、会社単位で開催している。会員以外の要請も心えている。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般社団法人 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-1311

福島事業所 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-2111

原町事業所 南相馬市原町区上波佐原432-1 ☎(0244)22-3568

郡山事業所 郡山市富田町福原1 ☎(0248)932-6054

白河事業所 白河市十三原道上3-51 ☎(0248)22-6066

いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 ☎(0246)36-1177

若松事業所 会津若松市北町大字上荒久田字村北147 ☎(0242)32-3350

田島事業所 南会津郡南会津町田島字南下原66-1 ☎(0241)62-4847

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレジエザ仙台ビル TEL(022)261-6015

福島県支部/相馬市中村字川沼115 (090)6256-3984

福島電気管理センター/福島市佐原字26 (024)593-1266

郡山電気管理センター/郡山市安積町荒井字北大部5-20 (024)946-2461

会津電気管理センター/喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1 (0241)27-7664

相双電気管理センター/南相馬市原町区仲町一丁目157 (0244)22-2817

白河電気管理センター/白河市大観音前19-2 (0248)27-0178

いわき電気管理センター/いわき市平泉崎字南集25-3 (0246)34-5551

高品質で省エネ — LEDランプはレディオック

LEDiOC

IWASAKI

岩崎電気株式会社 郡山営業所 〒963-8046 郡山市町東3-103 TEL:024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

株式会社 トベ

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5
TEL(0223)25-6701

■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3-12-3 ☎(024)553-8551(代)

■福島西営業所/福島市大森字街道下57-1 ☎(024)544-6228(代)

■郡山営業所/郡山市安積4-277 ☎(024)937-2462(代)

■原町営業所/南相馬市原町区北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)

■相馬営業所/相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)

■いわき営業所/いわき市鹿島町御代字大一田1-1 ☎(0246)76-1055(代)

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北支社

福島支店

福島営業所 TEL(024)553-4165

郡山営業所 TEL(024)934-3065

いわき営業所 TEL(0246)75-0700

植葉営業所 TEL(0240)23-6155

— 賛助会員募集 —

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- ・毎年発行する「会員名簿」に社名を記載します
- ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください

